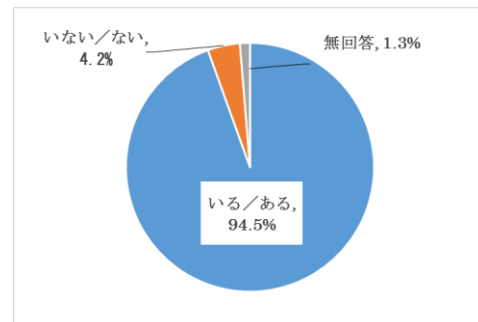
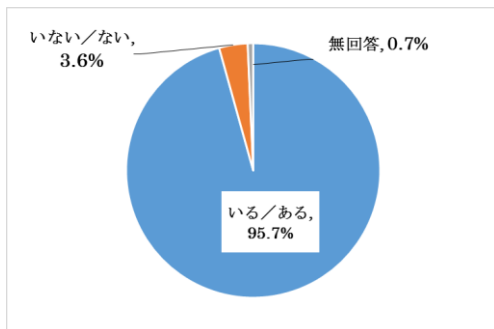


(2) 相談支援体制等について

① 子育てに関して、気軽に相談できる人や相談できる場所はありますか。

【就学前】

【小学生】

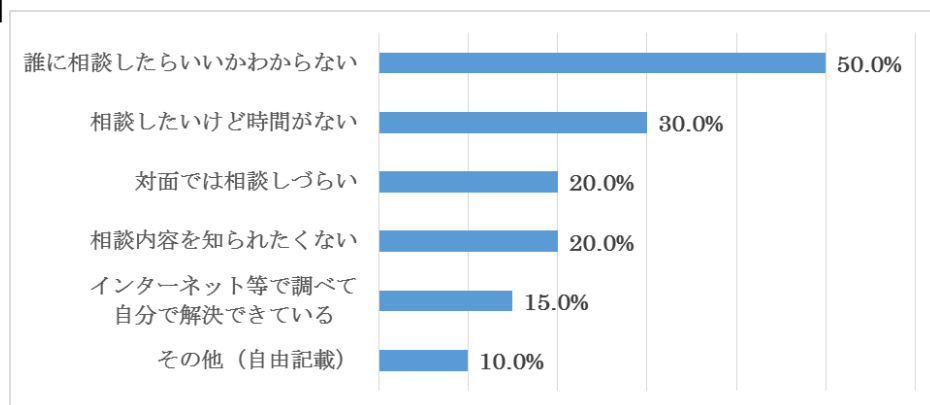


相談相手・場所がないと回答する保護者の割合は、【就学前】3.6%（20人）、【小学生】4.2%（28人）となっている。

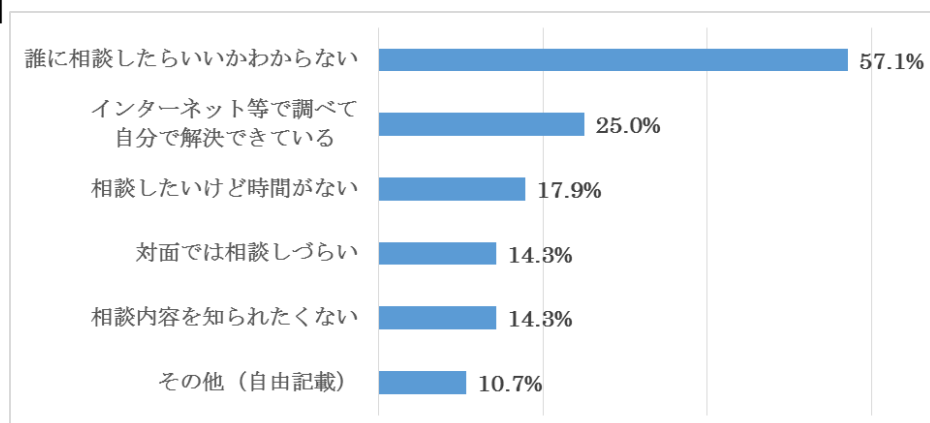
② ①で「いない/ない」と回答した方に伺います。

その理由はなんですか？（あてはまるもの全てに○）

【就学前】



【小学生】

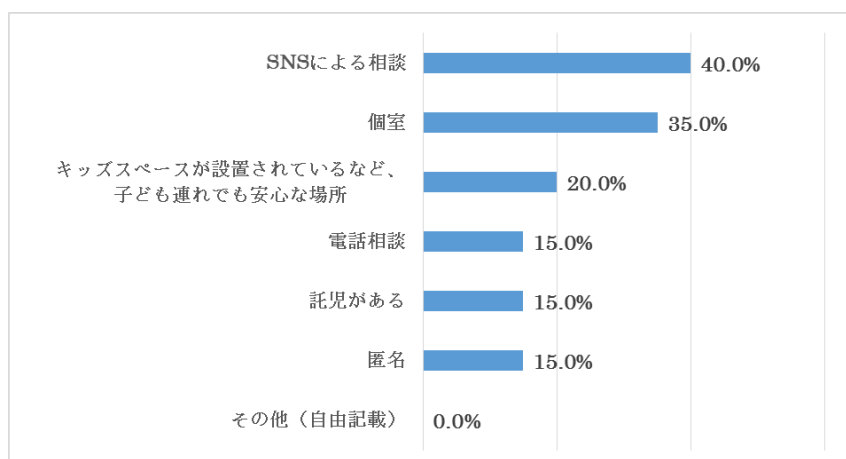


相談相手・場所がない理由は、【就学前】では、「誰に相談したらいいかわからない」の割合が50.0%と最も高く、次いで、「相談したいけど時間がない」の割合が30.0%、「対面では相談しづらい」「相談内容を知られたくない」の割合が20.0%となっている。

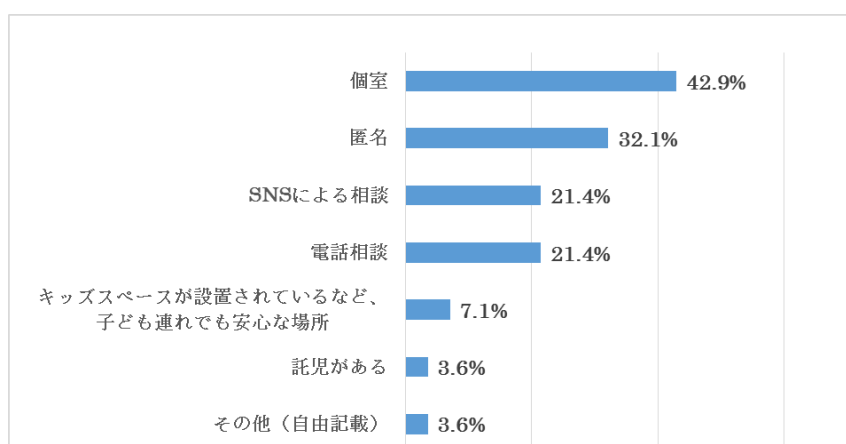
【小学生】についても、「誰に相談したらいいかわからない」の割合が57.1%と最も高く、次いで、「インターネット等で調べて自分で解決できている」の割合が25.0%、「相談したいけど時間がない」の割合が17.9%となっている。

③ どのような場所・体制であれば相談しやすいですか？（あてはまるもの全てに○）

【就学前】



【小学生】



相談しやすい場所・体制については、【就学前】では、「SNSによる相談」の割合が40.0%と最も高く、次いで「個室」の割合が35.0%、「キッズスペースが設置されているなど、子ども連れでも安心な場所」の割合が20.0%となっている。

【小学生】では、「個室」の割合が42.9%と最も高く、次いで「匿名」の割合が32.1%、「SNSによる相談」・「電話相談」の割合が21.4%となっている。

【子ども・子育てに関するアンケートまとめ】

- ・【就学前】における相談相手・場所がないと回答する保護者の割合が依然として増加している。
- ・一つの要因として、度々の緊急事態宣言を受け、外出自粛やみらいえ等施設の利用制限がおこなわれたことで、友人や職員等への相談の機会が減少したことが考えられる。
- ・【就学前】では、「相談したいけど時間がない」と回答した保護者が多かった。相談しやすい場所・体制について最も多かった「SNSによる相談」など、相談者が自宅等に居ながら手軽に子育て相談が行える窓口を検討する必要がある。
- ・ただ、「SNSによる相談」は、スピード感や手軽さ、また、リアルタイムで育児の悩みが解決できることがメリットであるが、それに対応する人員配置等が課題である。
- ・【就学前】【小学生】ともに、「だれに相談したらいいかわからない」が一番多かった。子育て世代包括支援センター『はぴいく』については、「個室」で「キッズスペースも設置」されている。コンシェルジュや相談員の資質向上と相談しやすい窓口を目指すとともに、これまで以上に、効果的に周知する必要がある。